

平成25年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	地震による被害の低減に関する研究 (支援期間：平成25年度)			
大学名	所属		氏名	
福井大学	大学院工学研究科機械工学専攻		○新谷真功	
金沢大学	理工研究域 機械工学系 医薬保健研究域医学系 附属病院 血液浄化療法部		○岩田佳雄 和田隆志 古市賢吾	
富山大学	理工学研究部 (工学)		○木村弘之	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。				
その他の機関 の構成員	機 関 名	所 属	職 名	氏 名
	(財)北陸産業活性化 センター		産学官連携コーディネーター	宮田勝保
成果概要	<p>北陸地区の国立大学のこの分野での協力体制は全く存在しなかった。今後の大学間連携事業を通じた活動の活性化と科研費等の外部資金の獲得を、さらには、文科省への概算要求も考慮して、まずは、北陸地区大学間連携による共同研究ネットワーク作りを行った。</p> <p>福井大学、金沢大学では、医療機器の地震被害低減を目的として、免震装置の遠隔測定を行うシステムの構築を行った。金沢大学医薬保健研究域医学系和田隆志教授、附属病院血液浄化療法部古市賢吾部長の協力の下で、金沢大学附属病院血液浄化療法部に設置されている日機装の人工透析装置を、地震被害低減のために、江沼チエン製作所の協力による3次元小型免震装置『ゆれナイト』の上に設置した。人工透析装置の移動には、日機装の技術者、免震装置では江沼チエン製作所の技術者の協力のもとで行った。データを取るために、加速度センサー、ネットワークカメラなどを取り付けた。ネットワークカメラの映像を撮り、データを収集した。</p> <p>12月5日に、富山大学、金沢大学、福井大学の担当者が金沢大学に集まり、各大学で行っている地震被害低減に関する研究の発表会を行い、意見交換を行った。さらに、金沢大学附属病院に設置した免震装置とデータ収録装置の見学会を行い、意見交換を行った。</p> <p>また、富山大学でも長周期成分を多く含む地震動に対応した免震装置に関する研究を進めており、上記の研究会で情報交換を行った。</p>			
獲得した外部 資金	<p>福井大学産学官連携本部より採択を受けたILF予算で、遠隔測定の準備と実験を行っている。この連携成果に基づき、外部資金への申請を行う予定である。具体的には、北陸産業活性化センターの研究助成金への応募を行ったが、不採用になった。再度、北陸産業活性化センターの研究助成金への応募を検討している。</p>			